

保護者の方の回答 最近読んで面白かった本のタイトル	④-2 その著者	④-3 簡単な感想
夢をかなえるゾウ	水野 敬也	シリーズ毎回、一気に読み出来る面白さ。 意識が変われば、行動が変われる。
夢をかなえるゾウ	水野 敬也	毎日の積み重ねが大切な事を、改めて知るきっかけとなった。
夢をかなえるゾウ3	水野 敬也	夢を叶えるスパイシーな教え
夢をかなえるゾウ	水野敬也	ある日ゾウが見えるようになり、ゾウの課題を次々クリアし、自己を見つめ生き方が変わっていくお話。
夢をかなえるゾウ	水野敬也	自己啓発本。自分をより良くするために明日から実行できそうなことが書いてある。印象に残ってるのが1日の最後に「その日頑張れた自分を褒める」。自己肯定感が高まるので祝辞で子どもたちに伝えたいと思った！
夢を叶えるゾウ	水野敬也	今現在の自分からできる行動指針に気づきました。
逆ソクラテス	伊坂幸太郎	小学校を舞台にした爽快感のある話が散りばめられているのが良い。テンポ良く読み、人間の不完全さや、ちょっとした勇気の大事さなど、いろいろ考えさせられる。
逆ソクラテス	伊坂幸太郎	固定概念にとらわれない生き方は大切だと感じた。
逆ソクラテス	伊坂幸太郎	主人公が小学5年生くらいの子ども、それを取り巻く小さな日常と大人達がとてもおもしろかった。
嫌われる勇氣	岸見一郎	対人関係の思わぬ気づきなどを知らされた
嫌われる勇氣	岸見一郎	アドラー心理学が分かり易く書かれていた。
嫌われる勇氣	岸見一郎 古賀史健	タイトルが気になり手に取った本。「進んで嫌われよう」ということではなく、「誰かに嫌われるのではないか？」という恐れを取り払い、自由に楽しく生きるための方法が示されている。難解で何度か読み直さないと理解できないところも。
ハヤブサ消防団	池井戸潤	田舎ならではの自然や暮らし、人々の繋がりが語られ、岐阜の山間部出身という作者の郷土愛、田舎愛を感じました。
ハヤブサ消防団	池井戸潤	どんどん読み進めたくなった
ハヤブサ消防団	池井戸潤	ミステリー小説で迫力満点で凄い
沈黙のパレード	東野圭吾	真実が面白かった 感動した
沈黙のパレード	東野圭吾	予想できないような、謎解きの展開が実に面白かった
沈黙のパレード	東野圭吾	面白い
ハリー・ポッター	J.K.ローリング	ハリーの成長と、最後には宿敵を倒すところに感動した
ハリー・ポッター	J.K.ローリング	シリーズを通して成長していく主人公達と、自分の子供の成長が重なり楽しく読み進められました。
運動脳	アンデシュ・ハンセン	体は未だに狩猟採集民の特性が残っていることに驚愕。運動したくなった。
その本は	ヨシタケシンスケ 又吉直樹	視点が面白かった
その本は	ヨシタケシンスケ、又吉直樹	王様のためにふたりが本の旅をして、その話を教えてあげる、面白い本でした。作者2人のそれぞれの視点が面白かったです。
十角館の殺人	綾辻行人	最後の思わぬ展開が面白かった。
十角館の殺人	綾辻行人	本格ミステリの復活
数値化の鬼	安藤 広大	仕事への取り組みに対して勉強になる
数値化の鬼	安藤広大	業務における予実管理に関して明確に示されている。

生き方	稲森和夫	人間としての正しい生き方について考えさせられた。
生き方	稲盛和夫	心の大切さ、利行の大切さ、
三千円の使い方	原田ひ香	お金の使い方、考え方を学べて考えさせられる本だった
三千円の使い方	原田ひ香	お金の使い方について改めて考えさせられた。人それぞれの価値観というのは違うものだが、いかに楽しみ充実した日々を送れるかということに、本当のお金の価値観があるのではないかと思う。充実した毎日過ごすためにも、先を見た行動をとらないとならないと反省させられる。
本日は、お日柄もよく	原田マハ	言葉の大切さを実感した
本日はお日柄もよく	原田マハ	言葉の使い方、話し方が参考になります。
話し方で 損する人 得する人	五百田達成	得する話し方を身につけたいと思った。
話し方で得する人、損する人	五百田達成	同じことを伝えていても、伝え方で印象が違えることがあること、伝え方で伝わり方が変わることが比較されており興味深かった。
風が強く吹いている	三浦しをん	駅伝を通して仲間との絆が良かった。
風が強く吹いている	三浦しをん	アニメからはまった。 一人一人のキャラクターがよい 夢がある
君の名は	新海 誠	見知らぬ男女が入れ替わるストーリーは昔から良くあるパターンだが、その現代版と言った感じ。時間を遡っていた事や、壮大な結末が面白かった。
君の名は	新海誠	発想が豊か
シャイロックの子供たち	池井戸 潤	仕事や家庭、人生への向き合い方を考えさせられる一冊でした
シャイロックの子供たち	池井戸潤	必要悪について考えさせられる話して、先の展開が読めない面白い話でした。
13歳からのちせいがく	田中孝幸	リベラルアーツ入門にピッタリ。小学校高学年なら読める。
13歳からの地政学	田中孝幸	子供でも理解しやすいのがよい
手紙	東野圭吾	人との繋がりの大切さを知りました
手紙	東野圭吾	人の心の変化が見てとれて面白かった
汝、星のごとく	凧良ゆう	2人の男女の人生逆転劇
汝、星のごとく	凧良ゆう	地方へ移住した状況は自分と重なり、都会で成功する者、地方に残る者の付かず離れずのやりとりの中にBLという要素も入れており、現代の課題を軽快に物語る読みやすさがある。本文で、「自分というフィルターを通してしか物事を見られない。だから最後は『自分がなにを信じるか』の問題なんだろう」とあり、インターネットにビッグデータやAIが加わり、益々混迷する情報氾濫社会の中で、「自分がこの世界をどのように捉えているのか」が大事で、「最後は自分で考えるしかないのだよ」ということが物語の通奏低音となっている。
ワンピース	尾田栄一郎	面白い
ワンピース	尾田栄一郎	毎回ワクワクして楽しい
運動脳	アンデシュ・ハンセン	運動への意識が向上した
水滸伝	北方謙三	しあを広げて、ともの大切さ
水滸伝	北方謙三	生き様がかっこいい
母性	湊かなえ	湊かなえの作品を読むのは初めてでしたが、感情の描写や母と子、嫁と姑、妻と夫など様々な人間関係にとっても惹きつけられました。
母性	湊かなえ	親子の関係性について考えさせられました
はきものをそろえる 世界一かんたんな成功法則	清水 克衛	自分の足元をみる大切さを実感した。

3分間サバイバル	3分間サバイバル	3分間サバイバル
たくさんのドア	アリスン・マギー	子供達に伝えたい本です
スマホ脳	アンデシュ、ハンセン	スマートフォンが脳や人の生活に与える影響について、知ることができた。
一生使えるポジティブ言い換え言葉	えらせん	投げかける言葉一つひとつで関わりがグッと変わることを学べる本。ビジネスシーンではもちろん子どもに対してもマイナスの言葉を自分の中でプラスの言葉にして伝えることを心がけようと思えるようになる本。
ザ・ゴール	エリヤフ・ゴールドラット	ビジネスに必要な知識考え方を小説形式にする伝え方が、すごいと思う 内容は、赤字工場の再建であり、考えさせられるポイントが多数あった
さくらのふね	きくちちき	迫力とのびのびとした絵が飛び込んできました。
たいのおかしら	さくらももこ	ももこの人生がおもしろい
ユーモアは最強の武器である	ジェニファー・アーカ他	ユーモアは人間関係を円滑にします。家庭生活も社会生活もスムーズになります。豊かな人生になるようにユーモアを取り入れたいと思いました。
バビロンの大富豪の教え	ジョージ S グレイソン	学校では教えてくれないお金のこと
7つの習慣	スティーブン・リチャーズ・コヴィー	人生を豊かにする為に必要だと感じた
チーズはどこへ消えた？	スペンサー・ジョンソン	とても前向きになれる本です。 自分で変わろうと思わなければ、何も状況は変わらない。勇気を出して一歩踏み出せば、新しいワクワクする世界が待っている、ホーのように新しいチーズを探す行動を楽しめるように、自分もなりたい！と考えることのできる本です。
アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	知能とは
ほっといて欲しいけど、ひとりはいや。	ダンシングスネイル	人間関係をほどよくうまくやっていた内容で、よかったです。
新観光立国論	デービッド・アトキンソン	仕事とこれからの日本についてわかり易く書かれていた。
ふくしまの子ら49	なし	子供の気持ちが詰まっていた最高
ミシシッピに消えた	ハワード・ジョーンズ	ためになった
FACTFULNESS	ハンス・ロスリング	新しい価値観と視点に出会える。
花火	ピース又吉	感性が違う
1%の努力	ひろゆき	いつもの自分と違った、他人などの考え方をすることで、今の自分の視野が広がると思う。良い悪いでなく、そう言う考え方もあるのかと、気づくことが、大事なのかと思う。
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ	日本との教育違いにびっくり
昆虫世界のサバイバル	ホンジェチヨル	昆虫の世界が面白い、漫画で読みやすい。
聖域	やまと	自分と子供の間で世代の価値観が知れてよかった。
ゆりあげの空に	ゆりあげ乙女の会	中学校の教師たちが、東日本大震災に生徒と直面してからの10年の思い、記録が心に響いた。
あんなにあんなに と ふまんがあります	ヨシタケ シンスケ	子どもの気持ちも大人の気持ちも面白く代弁してくれ、笑ってしまう
このあと どうしちゃおう	ヨシタケ シンスケ	人生を楽しく生きて行きたいと思わせるはなし
給食番長	よしなが こうたく	給食のおばちゃんがいえでをして、給食が目の前に届くありがたさを、遠回りしながらも気づいていく様に心動かされました。
ラリーウィリアムズの短期売買法	ラリーウィリアムズ	相場の手法が参考になった

ちっちゃなやさしさに、今日も救われてます	るしこ	家族のほのぼのとした日常が描かれたており、子どもへの世間の視線なども明るく優しく感じられ、保護者としてほっこりするはなしのため。
ファクトフルネス	ロスリング	先入観で世界を見ていたことがわかり、思っていたより世界は発展、平和になっていることがわかります。
金持ち父さん貧乏父さん	ロバート・キヨサキ	ビジネスの基本な事が書いてあり、とても参考になった。
シンニホン	安宅和人	未来を生きる子どもたちに対する教育は大人のそれぞれの感や経験だけでは思い込みを刷り込んでしまいかねない。
AX	伊坂幸太郎	営業マンの裏の顔が殺し屋という主人公でしたが、アクションシーンも読み飽きず、光景が目の前に広がるようでした。
クジラアタマの王様	伊坂幸太郎	伊坂幸太郎が好きで読んでいる。世界観に浸ってみたい気持ちにさせてくれる。
スラムダンク	井上	習い事と同じスポーツ
今夜、世界からこの恋が消えても	一条岬	切なかった
変な絵	雨穴	子どもに薦められて読んだ。ミステリーなので、自分で推理しながら読むのが楽しい。
つくることばいきることば	永井一正	リラックスできました。
人は話し方が9割	永松 茂久	人と関わる上でとても参考になった。
うまくいく人の考え方	永松茂久	何事も考え方しだい
海と毒薬	遠藤周作	捕虜となった米兵が実験の被験者になる出来事。学生の頃から気になっていた小説で、時間ができた今になって読んでみた。
SPY×FAMILY	遠藤達哉	血の繋がりがなくても、家族として相手を思いやる部分が好きです。
魔法のほめ方 PT	横山浩之	職業柄購入したのですが、我が子にも通じるものがあり育児に役立つと感じました。
ストロベリーライフ	荻原浩	農業って面白そうだとおぼろげに思わせてくれる本
神様のカルテ	夏川 草介	実写化された小説ですが、その理由が分かる位、面白く、また泣ける小説でした。
始まりの木	夏川草介	民俗学という現代ではマイナーなジャンルをテーマにしている。新たな気づきや古来から大切に子なければいけないことが感じられた。
妻、小学生になる	覚えてない	死と生、家族の絆について、改めて考えさせられる。
ラベンダーとソプラノ	額賀滯	娘からすすめられて一緒に読みました。自分の考えとみんなの考えが違った時、自分の思いをストレートに言うかそれとも我慢して合わせるか…思春期にはたくさん経験する事だと思います。嫌な思いをしたり涙する事もあるが、たくさん経験する事で大人になっていくものだ親子で話しました。本を通して親子で話し合えるのも嬉しい毎日です。
学びを結果に変えるアウトプット大全	樺沢紫苑	挑戦することの大切さ
もう人間関係で悩まない！コミュニケーション大全	鴨頭嘉人	自らの経験からのコミュニケーションの話なので解りやすい。
叱らない子育て	岸見一郎	叱って物事を教えるより、子どもを未来の大人と見て、自立して育てることにより、子ども自身が自分で考えて、生活していく力を伸ばすことができました。
家族だから愛したんじゃないくて、愛したのが家族だった	岸田奈美	心があたたかくなり、家族の大変な事も辛いだけじゃなく、乗り越えてく姿がそのまま書いてあり、楽しくあつという間に読める。
発達障害の人が見ている世界	岩瀬利郎	人間の思考の多様性を知ることが出来ました。
運転者	喜多川泰	親と子、縦の繋がりが想いの深さ、誰かのために生きることを子供に伝えていきたいと思わせる内容でした。
国宝	吉田修一	挫折と成長、その道を極めることの難しさと厳しさと味わえた。

覚悟の磨き方	吉田松陰	後悔しない生き方とはなにか？
銀杏堂	橋春香	商品の一つ一つのエピソードが面白い。
聖女の魔力は万能です	橋由華	日常的な話なので何も考えず読める
コグトレ実践集	宮口幸治	仕事の参考になった
銅の自己肯定感	宮崎直子	自己肯定感は上がったりがったりする中で生まれ持った性格や、親、環境のせいにしてきました。どのような考え方や在り方で入れば自己肯定感が上がったままでいれるのかとても勉強になりました。もう少し若い時に気づけていれば、人生変わってたのかなとも感じる本でした。
注文の多い料理店、どんぐりと山猫、よだかの星 等	宮沢賢治	小学校高学年から宮沢賢治の作品に触れさせたいと思った為
きたきた捕物帳	宮部みゆき	人情あり謎解きありの時代劇物
火のないところに煙は	芹沢央	ミステリと怪談の融合という謳い文句に惹かれて読んだが、背筋がゾッとするような感覚になるおもしろい短編集だった。
奥州戦国に相馬奔る	近衛龍春	地元の歴史について知ることができた。
さよなら平成くん	古市憲寿	死について考えさせられた
光とともに…	戸部けいこ	とても勉強になった
おとな二人の午後	五木寛之・塩野七生	共感する内容が多く、読みやすかった。
黒人音楽史 奇想の宇宙	後藤護	オーソドックスな黒人音楽史では知ることの出来ない内容で面白かった。
お金の増やし方	厚切りジェイソン	こどもにも、早くから金融の知識を持ってもらいたい
考える。動く。自由になる。	工藤勇一	物事を判断する際の考え方の参考になった
とんでもスキルで異世界放浪メシ	江口連	異世界物で、間違えて召還されたが、『ネットスーパー』なる(現代の品物を異世界に取り寄せられる。)スキルと従魔契約した魔物2匹と冒険していく話。で魔物2匹は、可愛いし、ネットスーパーを駆使して料理を作るのも料理の勉強になる！
本好きの下克上	香月美夜	世界観が面白い
特撮家族	高見澤俊彦	ユーモア
伝えることから始めよう	高田明	ストーリーを相手に作っていただくか。を基に俯瞰的な見方、具体的な作り方を教えてもらった
生き方の教科書	黒柳徹子ほか364人	一人ひとりの文章から、生き方のヒントを知ることができた。たくさんの著名人のモチベーションの高め方や素顔を知ることができた。
ざんねんないきもの事典	今泉忠明	生き物の生態を面白おかしく知る事ができた。
九十八歳 戦いやまず日は暮れず	佐藤愛子	おばあちゃんから勧められて読みましたが、著者の人生をユーモアを交えて表されていてとても楽しく最後まで読みました。
テスカトリポカ	佐藤究	まるで映画を観ているような場面描写とストーリー展開に圧倒されました。随所にアステカ文明の暦や儀式が取り入れられ、物語全体が絶妙に構成されています。さすが直木賞作品です。(ただし子供には読ませられない内容ですが)
思考力を高める授業	佐藤佐敏	物の見方が多方面に広がる
100万回生きたねこ(絵本)	佐野洋子(作・絵)	題名の通り、100万回生きて生き返ったねこのお話ですが、最近読む機会があり、子どものときに読んだ感じよりも大人の今になって読んだときの物語の深さに感動してしまいました。
いまずぐ妻を社長にしなさい	坂下 仁	今まで見えなかったロジカルな組立部分が見えるようになった
犬が伝えたかったこと	三浦健太	犬と人間の関わりから、学ぶことが多かった。
給水装置工事攻略問題集	三好康彦	解説がわかりやすい
ピブリア古書堂の事件手帖	三上延	事件について楽しむだけでなく、読んだことのない作品について知ることができて面白い

仮面の告白	三島由紀夫	内容
どこ？	山形 明美	本、と言っても文章がたくさんある訳ではないのですが、子どもの為に買ったもので、一緒に読んでいたらハマって夢中になってしまう程。。時間を忘れて楽しめました。
一度読んだら絶対に忘れない日本史の教科書	山崎圭一	日本史が一つのストーリーとして構成されているので、読んでいて頭に残りやすい。大人になってから読んでも、新たな発見ばかりでとても面白い。
こども六法	山崎聡一郎	身近な疑問に対し、法律の視点から教えて頂ける本で、行動や発言ひとつひとつ見つめなおすことができました。
今日から人生が変わる！山崎拓巳のココロの言葉	山崎拓巳	ココロのちやもやがすっきりしました。前に進んで行こうと思える力がわく、著者の優しさがつまった本です。
遊ぶ鉄工所	山本昌作	仕事に生かしたい
峠	司馬 遼太郎	幕末激動の時代に生きた河井継之助の侍魂に胸打たれた。
夜行堂奇譚	嗣人	世界観が面白かった
十五少年漂流記	志水辰夫	男の子が夢中になるのが良く分かった。
大谷翔平から学ぶ成功メソッド	児玉光雄	思考と行動について考えを、改めてみた
インドクリスタル	篠田節子	まだ読んでいる途中ですが、不可触民(ダリット)やその文化などストーリーの本筋以外のところも興味深い
悲しみの秘儀	若松英輔	一行一行が心に沁み込む
ぼくらの七日間戦争	宗田理	子供たちが大人とちゃんと意味をもって戦っていくストーリーが面白い。自分も仲間に入ってる気分になってしまう。
君の臍臓を食べたい	住野よる	感動した
あすなろ三三七拍子	重松清	いくつにはなっても熱中できることがあるというのは、素敵なことだなと感じました。
旧友再会	重松清	成人期の生きていく難しさ
青い鳥	重松清	中学校の話。リアリティがあって面白かった
子どもを呪う言葉・救う言葉	出口保行	子どもへかける言葉ひとつの重み、責任について思料することとなった。
犯罪心理学者が教える 子供を呪う言葉 救う言葉	出口保行	親や家庭環境が子供に及ぼす影響について 子供の非行ケースを元に解説してあり大変為になりました。
余命10年	小坂流加	人生悔いのないように生きたい
イチローの流儀	小西慶三	ぜひ読んでみてください
君のクイズ	小川哲	いつもビジネス書ばかりを読んでいるので、たまに読む文芸書も面白い
十二国記(白銀の嘘 玄の月)	小野不由美	十二国記シリーズとして出ている続編だが、ファンタジーでありながら、「人が人としていきる本分とは」「人を信じるとは何か」等、考えさせられる。十二国それぞれの登場人物の繋がりが関わりの描き方が現代にも通じるものがある。
気がついたら自律神経が整う「期待しない」健康法	小林弘幸	ストレスを溜めない為には不安やモヤモヤを書いて可視化するという。見えない敵と闘うよりも見えた方がわかりやすい。不安なことを無くしていけばきっと色々出来るはずだと思う。
カモフラージュ	松井玲奈	どの話も興味深く読めた。
道をひらく	松下幸之助	人としてどうあるべきかが、非常に参考になる
私のことば体験	松居直	言葉が持つ力、小さい時から言葉の感覚を磨くことの大切さを改めて考えさせられました。言葉が身につくのは先ず耳からですね。
彼方への挑戦	松山英樹	引き込まれるように読んでしまいました。
女の子はどう生きるか	上野千鶴子	社会で女性がかかえる「生きづらさ」について、わかりやすく理由を説明してくれています。

一生お金に困らない生き方	心屋仁之助	自己価値の高さが収入に比例するという話に驚いた。
AI vs. 教科書が読めない子どもたち	新井 紀子	リーディングスキルの大切さを実感
すずめの戸締り	新海誠	映画も良かったですが、小説でじっくり読めるのも良かったです。
競争の番人	新川帆立	公正取引委員会の職務についている主人公の女性、白熊楓。仕事もプライベートも上手くいかない中、日々奮闘する。田舎の小さな案件をきっかけに、地域を巻き込む展開へ。日本の古い村社会の考えに切り込み、考えさせられる本。新川帆立さんは、読めば読むほどクセになるミステリー作家さんです。
元彼の遺言書	新川帆立	空想とドキドキ感を味わえて面白かった。
カラフル	森絵都	人には色々な面があり、自分が嫌いな人でも良いところがたくさんある。楽しそうに見える人にも悩みがある。人を知ることは大切。自分が変わる事で周りも変わる。
ルーキーズ	森田まさのり	先生と生徒たちの熱き青春を、高校野球に捧げた人生に感動し、自分の青春時代を思い出しました
ハゲタカシリーズ	真山仁	ストーリー性が良い
もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら	神田 桂一	ひとつの行動に背景がいろいろ変わることに
ねこ検定	神保町にゃんこ堂	猫に寄り添い共に暮らしていく上での知識が詰まっている本
ほっとする論語	杉谷みどり	深い
22世紀の民主主義	成田悠輔	分かりやすく書かれていて読みやすい
死にたかった発達障がいの僕が自己変革できた理由	西川幹之佑	自己選択、自己理解することの大切さが分かりました。
僕が親ならこう育てるね	西村博之	共感できることがある。
お探しものは図書室まで	青山美智子	図書室司書さんとのやりとりが面白く、司書さんがイメージできて楽しかったです。
ルドルフとイッパイアッテナ	斉藤洋	猫の生活と気持ちを詳しく描写してて、人間のような関係性を描いた本。猫だけど、思わず分かるわ〜と言ってしまおう。
認知症の人が見ている世界	川畑智	仕事柄、認知症の方と携わっている時間が多く、本人達がどういう景色を見ていて、どういう気持ちで行動しているのかが理解出来た。
大人の嘘つきな大学生	浅倉秋成	全員が悪者で嘘をつきあって就活していたがみんな思いあって就活していた。
流人道中記	浅田次郎	妻以外の女性との関係を持ったとして切腹を申しつけられる旗本の男。断る事で流罪になり、様々な人間模様を経て全てが明らかになった時、法律とは人間とはを考えさせられる。
新！店長がバカすぎて	早見和真	書店を舞台にしたお仕事小説です。前作が本屋大賞にノミネートされたのですが、本作も大変面白かったです。
捨てる神に捨てる神	早坂茂三	とにかく面白い。
ある愛の寓話	村山由佳	愛の形は様々。「何」を大切に思うか。
コンビ二人間	村田沙耶香	違った人の人生を疑似体験出来る
人と企業の真の価値を高めるヒント	大久保寛司	組織の中で個人がなすべきことを学んだ。
必ずできる、もっとできる	大八木弘明	指導者としての心得 時代に合わせた指導

失敗図鑑	大野 正人	子どもの本を借りて読みました。知られている世界の偉人たちが失敗を通して次へ生かすヒントを見つけ、活躍につなげた話です。自分の生き方のヒントを見つけたり、今後に生かせそうで、子どもの本ながら大人が読んで面白かったです。
言いかえ図鑑	大野萌子	日頃、何気無く使っている言葉が言い方によって相手の機嫌を損ねたり、損をしてしまわない為に、余計な一言を好感が持てる言葉に変えて行く為の本
一晩でわかる中学数学	端野洋子	中学三年間の数学が漫画でわかりやすい
アキラとあきら	池井戸潤	主人公2人の心の葛藤と成長が面白い。
プロ社長	竹田陽一	ランチェスター戦略
人生しばしホームレス	中川波佳	発達障害の就労に与える影響の参考になった
サイコパス	中野信子	脳科学と心理学が解明されてきて、多様性理解へ繋がります。
ピカレスク	猪瀬直樹	太宰治の心中事件の詳細が記載され、憶測でしか知らなかった真相に少し近づけたと思う
ゼロから始める異世界生活	長月達平	発想が面白い
おならのうた	長谷川俊太郎	リズムカルで、子どもが喜ぶ
メンタルモンスター	長友佑都	メンタルのモチベーションや切り換えの仕方が参考になりました。
父ちゃんの料理教室	辻仁成	子供（息子）に対する愛情と苦悩が滲み出て感情移入が甚だしい。
かがみの孤城	辻村深月	映画先行で原作読みました。全ての不登校中の子供たちに読んで欲しいと思いました。
やりたいことが見つからない君へ	坪田信貴	ぜひ保護者の方にも読んでいただきたいです。毎日の過ごし方が変わりますよ。
きっと明日はいい日になる	田口久人	読むだけで前向きになる
ホームレス中学生	田村	面白かった
引っ越し大名	土橋章宏	当時の知恵に面白さを感じた
マスカレードホテル	東野圭吾	とても好きな作家さんで、何冊も持っていますが、一気に読めてしまい、映画も観ました。
希望の糸	東野圭吾	家族の秘密が物語の中に散りばめられていて、通常の生活では考えられないようなことが起こるなど、とても物語の中に引き込まれました。
魔女と過ごした七日間	東野圭吾	ラブラスの、魔女シリーズの第三作 図書館での少年と女性との出会いから、ワクワクが止まらなく一気に読んだ
流星の絆	東野圭吾	意外な犯人のため、最後までドキドキ
5分後に意外な結末 黒いユーモア	桃戸ハル	短編で読みやすく展開が面白い
心に響く小さな5つの物語	藤尾秀昭	読み書かせに丁度いい長さの思いが伝わる著者
ズッコケ三人組	那須正幹	物語のテンポもよく、ストーリー展開にドキドキワクワクしながら一気に読み進められた。
下流志向	内田樹	学びからの逃走、労働からの逃走を現代の日本人の特徴として捉えた視点は、もう一度生きていくことを考え直すよい機会である。
俳句歳時記	日下野 由季	今、感じにくくなっている四季を、季語から感じ、思い出すことができました。
薬屋のひとりごと	日向夏	知識は身を助ける。
ことば大全墨場必携	日貿出版社	書道に大変役立つもので、何度読んでも勉強になる
こどものやり抜く力と自己肯定感を 一気に高める 超メンタルコーチン グBOOK	飯山 暁朗	子育てに悩みがあり手に取りました。「期待を押し付けない」という言葉にはっとさせられました。
永遠の0	百田尚樹	戦争時における家族の大切さ。
エスプレッソコーラ	不明	児童発達支援についてリアリティに描かれている
コーヒーが冷める前に	不明	不思議な世界観

HUNTER × HUNTER	富樫義博	面白かった
小説 震災後	福井晴敏	未来についての物語で、共感した
氷菓	米澤穂信	青春ミステリーで面白い
メンタルトレーニング関連も題名忘れられました	忘れました	現代人の、無になることへの罪悪感を実感しました。
満月珈琲店の星詠み	望月麻衣	星の巡り合わせと登場人物が少しずつ繋がっていくストーリー展開が、人と人のつながりは運命だと感じて面白かった
ちょっと今から仕事やめてくる	北川恵海	頑張りすぎなくても大丈夫なのかな？
岸辺露伴は倒れない	北國ばらっと	面白い
13歳のアート思考	末永幸歩	AIにはできない事、考えることの大切さをまなびました。
Nのために	湊かなえ	愛とは。。
告白	湊かなえ	複雑な気持ちになりました
落日	湊かなえ	二人の主人公がそれぞれの視点から一つの謎を解明していくのが面白かった
一生懸命:木村拓也決してあなたを忘れない	木村由美子	「影の努力」は人生においてとても大事なものだと感じました。
キッズペディア世界遺産	野村敦司	分かりやすく見やすい
阪急電車	有川浩	登場人物のつながりとそれぞれの視点が良い。
落合博満 決断=実行	落合博満	コーチング力の勉強になった
ぼくのがっこう	鈴木のりたけ	ぼくが考える学校の絵が、とてもおもしろいです。
古事記と日本書紀	鈴木昌子	わかりやすく良かった。
はたらく細胞	鈴木章一	人体の仕組みがわかりやすい
閉鎖病棟	帚木蓬生	勉強になった
読書力	齋藤孝	読書を習慣化してみせる。
ハイブリッドウーマン	遙洋子	女性が強く生きていくために勇気を与えてくれる
有機給食スタートブック	霧理恵子、谷口吉光	食べた物によって体が作られるので、正しい食育が大事だと思いました。